

ゆりのき



着任のご挨拶

愛育寮 寮長 矢幡 伸世

このたび、四月に前任の宮崎寮長の後任として着任いたしました矢幡と申します。

私は平成四年に荘に入職しました。当時ノーマライゼーションの潮流のさなか、入所施設から地域生活への中間施設としての位置づけにあつた、ぎあんハイツや生活支援センター（現、就業・生活支援センター）での業務を経て、平成二十年度から、あおば（旧わかば青年寮・みどりワークセンター）の在宅で暮らす方々の、主に日中の支援を提供する通所施設に勤務しました。

愛育寮に着任し数か月経ちますが、ご利用者・ご家族をはじめとする関係の皆様方との出会いを大切に、気持ちを新たに一つひとつ積み重ねていきたいと思っております。

さて、旭川学園の年長寮を分離し成人施設「愛育寮」として、昭和五十五年に独立し開設してから、すでに四十四年目を迎えています。これまでの愛育寮の刻んできた歴史は、時代が求める福祉ニーズにあわせて変化し、その時々課題に合わせてその使命を果たしてきたといえます。

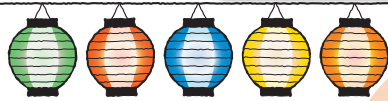
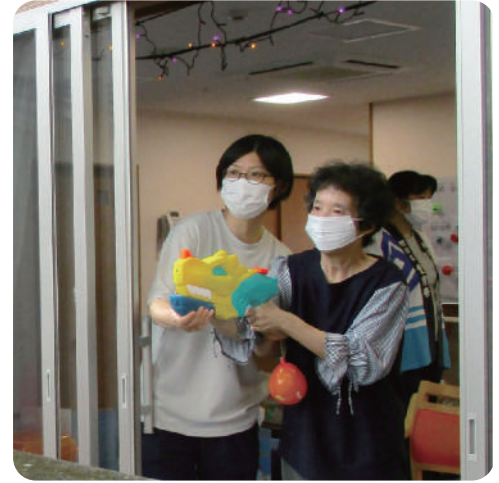
そのような中、今年には福祉・介護・医療のトリプル改定の年でした。法制度、施策、それらの変動に伴う細々とした対応に翻弄されるころは否めませんが、やるべき根本はただ一つ。年齢を重ねてもその人らしく、ご利用者の方々が生き生きと暮らし、活動できる場所であること。これまでの諸先輩方の歩みを大切に引き継ぎながら、私たちの支援の質を高めていく視点を忘れず、少しずつ取り組んで参りたいと思います。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



なつまつり



八月二十二日、旭川荘夏まつりが開催されました。今年度は、打ち上げ花火に加えて結びの杜周辺にキッチンカーが八台やってきて夏まつりを盛り上げました。大きな打ち上げ花火に皆さん歓声を上げていました。二十八日には愛育寮の「夏フェスタ」が開催され、ヨーヨー釣りや水鉄砲的当て、パターボーリングで夏の楽しいひと時を過ごしました。





健康フェスタ

今年度は健康フェスタの時期を早め、6月26日に開催しました。梅雨入りしたこともあり天気が毎日変わる日々でしたが、当日は晴れて、短いウォーキングと活動棟で球入れ・ボール転がしを行いました。皆さん楽しまれ、笑顔がたくさん見られました。



意思決定支援



今年度より個別支援計画作成にかかる会議に、利用者様ご本人に同席していただき、ご意見をうかがっています。多くの職員に囲まれ、本来の活発さが見られない方もいらっしゃいます。今後、より多くの想いを聞かせていただけるよう、工夫を重ねていきたいと思ひます。



衛生から



5月の『救命救急法』の寮内研修では、グループに分かれて心肺蘇生の手順に従った実践や、窒息の対処法についての知識を深めました。参加者からは「食事時の声かけや見守りの大切さ」「急変時、自信を持って行動したい」等の声が寄せられました。

お元気で

愛育寮で43年間一緒に生活されていた福見弥生さんが、3月21日に退所し、自宅で訪問診療を受けながらの生活をスタートされました。ご家族と一緒にゆったりと楽しい時間を過ごして下さいね。



福見弥生さん





新職員紹介

転任



本城 悦穂

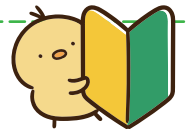
20年振りに愛育寮に戻ってきました。懐かしいご利用者と初めてお会いしたご利用者とのご縁を大切に、笑顔で頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



重成 佳数

法人事務局から異動してきました。ご利用者、ご家族、職員から頼れる職員として、信頼いただけるようにフットワーク軽く勤務して行きたいと思います。宜しくお願いします。

新人



井手原 知久

家政という部署でお世話になります。62歳の新人です。未経験分野ではありますが、入所の皆様に日々笑顔で暮らしていただけるよう自分自身も楽しんで仕事ができたらと思います。



松尾 怜奈

福祉系大学を卒業し、今年度から愛育寮へ配属になりました。たくさんご迷惑をおかけしますが、愛育寮の職員として日々成長できるよう頑張ります。宜しくお願いします。



的場 佑香

専門学校を卒業し、今年度から愛育寮へ配属となりました。分からないことが多くたくさんご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張ります。



森本 佳子

利用者様と過ごす時間を大切に、一緒に楽しい時間を共有できることを楽しみにしています。至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(ゆりのき)
百合樹 (本誌命名の由来)
女子寮玄関にあった愛育寮のシンボルともいえる「百合樹」から命名されました。
この樹は昭和三十七年岡山国体の折、旭川荘に天皇・皇后両陛下の行幸を記念して植樹されたもので、北米原産のモクレン科、高さ二十m以上、初夏には枝の先に淡緑色の斑点のあるチューリップに似た六弁の大きな花を付けていました。別名「チューリップ・ツリー」・「ハンテントンボク」とも呼ばれていたそうです。倒木の恐れがあり、平成二十九年を最後に残念ながら今はその姿はありませんが、愛育寮の広報誌のタイトルとして、この先も変わらず、継承していきたいと思っています。(矢幡)



異動と退職



宮崎 祐子

(のぞみ寮へ異動)
多くの学びと経験させていただきました。ありがとうございました。



杉本 好美

(いづみ寮へ異動)

4月からいづみ寮に異動になりました。愛育寮の皆様と多くの時間を過ごし、沢山の思い出を作ることができました。ここでの経験を活かせるように励みたいと思います。



花房 紗希

(退職)

様々な方のおかげで仕事を続けられました。支援については「こうすれば良かった」などと今更ながら反省しております。本当にお世話になり、ありがとうございました。

発行

岡山市北区祇園 866
社会福祉法人 旭川荘
障害者支援施設 愛育寮

発行人 矢幡伸世

TEL(086)275-4644 FAX(086)275-5645
http://asahigawasou.or.jp/aikuryo/

この広報誌は障害者支援施設
吉備ワークホームで作成しました